株式会社 東光舎

27 年度〈事業計画名〉
海外向けチタン製レザーカット用ハンドルの開発

Data
[代表者名] 代表取締役　井上 研司　[設　　立] 1917年8月
[実施場所] 〒028-4211　岩手県岩手郡岩手町川口11-3
TEL.0195-65-2225　FAX.0195-65-2224
E-mail . e-mail@joewell.co.jp
[ＵＲＬ] http://www.joewell.co.jp
[資 本 金] 1,200 万円　[従業員数] 40 名
[事業内容] 理美容鋏およびペット用鋏の開発・製造・販売

得意の研磨加工技術を活用した レザーカットハンドルを製品化する

プロのヘアデザイナー向けに開発されたレザーハンドル「レザルテ」。様々な研磨材料を使って仕上げ研磨を施したサンプルを官能評価し外観の美麗さを追求した製品づくりに取り組んだ。

ハサミ仕上げ工程が不要な製品を製造し、生産能力向上を目指す

チタン合金製のレザーカット用ハンドル「レザルテ」。両刃の替刃を本体に収め、蓋をして六角ボルトを締めて固定するという構造。

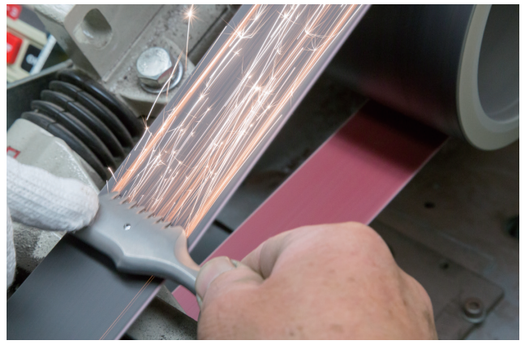
1917年に創業した当社は、理美容ハサミを主力商品とし、高品質な製品を作り続けてきた。当社が生産する理美容ハサミの６～７割は海外に輸出され、「ジョーウェル」ブランドとして広く知られている。

当社のコア技術は、ハサミの仕上げ（金属の微妙な矯正による噛み合わせの調整）技能と、金属を美麗に磨き上げる３次元の自由曲面研磨技能である。どちらも高度な技能を要するが、ハサミの仕上げ技能は担当するまでに５～10年程度かかるのに対し、３次元立体の研磨技能は３年程度で基本の加工技術を習得することができる。当社ではリーマンショック以降、新規雇用を控えて人員を減らしてきたが、現在は受注状況が改善してきている。しかし、ハサミ仕上げ職人の不足により、生産が追いつかなくなっていることが課題となっていた。そこで、ハサミの仕上げ工程が不要なレザーカットハンドル「レザルテ」の開発に注力し、工場全体の生産能力の向上を目指した。

５種類のサンプルの仕上げ面を検討し、製品の仕様を決定

「レザルテ」の考案者は秋田県美容生活衛生同業組合理事長であり、有限会社レザルテジャパン代表取締役の山本久博氏である。30年以上前から開発を始めて、バージョンアップを重ねてきた。レザルテの製造プロセスは、素材の作製（金属粉末射出成形法MIMにより立体を造形）、機械加工（剃刀挿入部分切削加工）、仕上げ研磨の手順で進み、当社は仕上げ研磨を請け負っている。本事業により細穴放電加工機とバフ研磨機を導入し、レザルテの最新バージョンの試作品作成に取り組んだ。

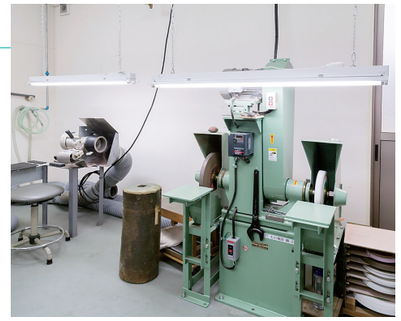
「レザルテ」はハサミの持ち手などと比較して表面積が広く、複数の面から構成される外観から、その仕上げ工程では、当社の得意分野である自由曲面３次元形状の研磨技術を活用できる。素材には、切れ味に優れ、重量感が程よいチタンを採用した。美麗な表面仕上げを確立するため、５種類の研磨剤（PVAホイールバフ・トライザクト・ジルコンビーンズ・レジンクロスベルト・研磨ベルト）を使い分けてサンプルを作製し、12人を対象にした官能評価試験を実施した。その結果、ジルコンビーンズによる仕上げが、「梨地」といわれるマットな質感（表面がザラザラしてつや消しした状態）を実現できることから評価が最も高く、製品の仕様はこれに決定した。



熟練の研磨技能を用いて製品を仕上げていく。

海外展開に向けて、製品化プロジェクトを継続する

平成29年1月にアメリカ・カリフォルニア州のロングビーチで開催された展示会では、新バージョンの「レザルテ」を出展し、翌２月から製品を出荷している。現在の製品は日本人をモニターにして仕上げたサイズだが、体格や髪質がアジア人とは大きく異なる欧米人向けにレザーハンドルの寸法や重量を変更することなどにより、海外展開していくための目途が立った。



本事業で導入したバフ研磨機。レザルテの最終研磨に使用する。

研磨技能の維持・強化を図り、業績拡大につなげていく

全国的に研磨職人は減少傾向にある。当社がこの技能を維持・強化していくことは、将来の日本のモノづくりを支える上でも重要なことと思われる。こうした技能は人の手と感覚に負う部分が大きく、職人の育成は容易ではないが、画像で残すなど技能伝承の方法を模索している。

当社はハサミのメーカーとして、国内外で品質に定評がある。そのブランド力を生かしながら、本事業への取組みにより熟練の研磨技能で美麗に仕上げた「レザルテ」の需要を拡大していきたい。また、当社の製品は海外で多く販売されているが、為替リスク回避の観点から、国内での売上増にも力を入れていきたい。そのためには、幅広い用途の製品開発にも積極的に取り組んでいく必要があり、現在はニーズを開拓しながら医療機器などの研究・試作にも取り組んでいる。これまでに培ってきた熟練の技能を生かして、さらなる業績拡大を図っていきたい。

本事業で導入した細穴放電加工機。加工用電極と加工材料との間に発生する放電作用を利用して、小径の穴を加工する。